臺灣日日新報
本日夕刊共四頁
（第二版）（昭和十八年十月二十五日（月曜日））（昭和十八年九月九日第三種郵便物認可）

けふ臨時議會召集

決戰下劃期的重要意義

【發表】政府は二十四日午前十時より貴族院、衆議院の兩院議長、副議長を官邸に招き、左の通り内閣總理大臣より詔書を渡し、次いで内閣總理大臣より施政方針の演説を行ふことゝなつた

詔書

朕茲ニ第八十三回帝國議會ヲ召集ス

御名御璽

昭和十八年十月二十四日

内閣總理大臣兼陸軍大臣 東條英機

演説 これを以て終戰以來第二回目の帝國議會を召集することゝなつたのであるが、この間内外の情勢は刻々重大性を加へ、特に大東亞戰爭の戰局は、その後ますます熾烈の度を加へ、皇軍將兵の勇戰敢闘は、連日赫々たる戰果を擧げつゝあるのであります、政府は、この大東亞戰爭を完遂して、大東亞の安定を確保し、もつて世界平和の確立に寄與するの決意を愈々固くするものであります、

決定 の後政府は二十四日午後三時より閣議を開き、二十五日の臨時閣議において、議會に提出すべき諸般の重要案件を決定することゝなつた

米英撃滅戰へ起つ

全幅の支援惜まず

タキン・ヌー緬甸政府代表聲明

【ラングーン二十三日發同盟】緬甸政府の首相タキン・ヌー氏は二十三日ラングーン放送局を通じ、緬甸政府の對日宣戰布告に關し、次の如き聲明を發した

緬甸國民諸君！

緬甸國民諸君！

緬甸國民諸君！

武勳大東亞に薫る

故中國中將ほか九柱

及び○○部隊葬別式告

【第五部隊】故中國中將の葬儀は二十四日午前九時から第五部隊葬場で陸軍葬を以て執行された、葬場には故中將の靈柩を中心に祭壇が設けられ、正面には故中將の遺影が掲げられ、その前には勳一等旭日大綬章、功一級金鵄勳章、勳一等瑞寶章、功一級金鵄勳章、

夕刊 臺灣日日新報 昭和十八年十月二十五日（月曜日） 第二百五千六百七十九號 (一)

第八十三臨時議會召集

兩院けふ成立す

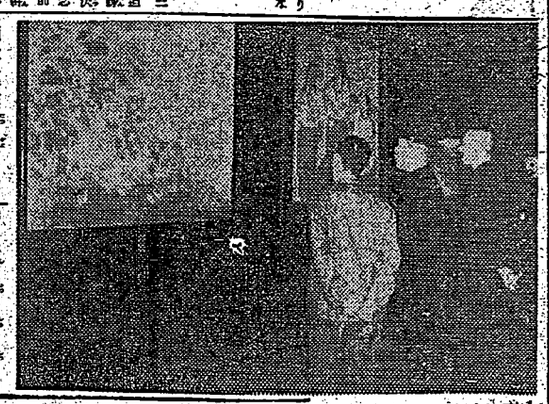
國内態勢強化の方途へ

【東京發】戰爭完遂なる絶對命題に邁進し戰力の飛躍的增强を中心とする國内態勢強化の方途を講ずべく第八十三臨時議會は二十五日午前十時より貴族院本會議場において三日間にわたり開會された、開會に先だち東條首相は左の如き詔書を奉讀した

朕茲に第八十三臨時議會を召集す

【東京發】開會に先だち

われらいざ征かん
甲種合格ッ!!輝く瞳
學生兵臨時徴兵檢査始る



諸君の責務は重大
花蓮港青少年團査閲　藤岡少將激勵

學生兵臨時徴兵檢査
岡部文相具さに視察す

浄闇に拝す御羽車
嬉しさ有難さ、生涯忘れ得ぬ感激
老も若きも烈々の決意

愛國の乙女を生産面へ
「女子勤勞挺身隊制度」
中林勤勞局長と一問一答

迫力ある皇奉運動へ
一路果敢な突撃！
新竹州支部役職員常會

後二國志
（田帥の巻）
吉川英治作
矢野龜村畫

藥効で口中を清掃して歯疾を防がう
口紅ホーロー
ホーロー琺瑯
磨歯ガラク